

米子市弓浜地域包括支援センターだより

平成 21 年度第 3 号 (平成 21 年 10 月発行)

第 5 回弓浜助け合いネットワーク

「弓浜助け合いネットワーク」の会も今年で 5 回目を迎えることになりました。

今回は「次代を担う子どもたちへの認知症の早期啓発」をテーマに、弓浜各地区での取り組みの状況を発表していただくとともに、認知症啓発教育のこれからについてみなさんと一緒に考えていきたいと思っております！



日時：平成 21 年 11 月 29 日 (日)

午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所：弓浜ホスピタウン 1 階 2000 年ホール

内容：1. 発表

- ・絵本「いつだってこころは生きている」朗読
- ・認知症絵本教室の取り組みについて…和田小学校
- ・認知症予防劇「昭子さんの冒険」…介護予防地域サポーター
- ・総合教育「認知症啓発授業」の取り組みについて…弓ヶ浜小学校

2. 意見交換会

座長 NPO 法人がいなネット理事長 小田 貢氏

パネリスト 弓ヶ浜小学校教諭、和田小学校教諭、

(予定) 地域の医師、認知症キャラバンメイト、
米子市弓浜地域包括支援センター

子ども達だけでなくその親の世代の皆さんにも認知症への理解を深めていただき、地域全体で認知症について考えていきたいと思っております。

多くの世代の方々にご参加いただけるよう、広く PR してきます！

皆さんも、どうぞご参加ください！

この他にも、介護・認知症相談コーナーやタッチパネルなどの各種コーナー、地域活動の展示など予定しています。

人権協働シンポジウム 「生まれて死ぬまでの『ひと』の人権を考える」



9月27日(日)米子コンベンションセンターにて人権シンポジウムが開催されました。

人権を身近な問題として、また親しみやすい言葉として感じるために必要な取り組みや、人権についてもっと大切に考えていきたいという趣旨の会で、子ども・高齢者・障がい者に携わって活動されている方々が、それぞれの立場から人権について発表されました。その中で、高齢者の人権について米子市弓浜地域包括支援センターから小坂が発表させていただきました。

地域包括支援センターは介護予防、ネットワーク作り等とともに、高齢者虐待、消費者被害の防止・対応という、まさに高齢者の権利を擁護することを業務とする機関です。とはいえ、日々「何をもちて権利が護れたといえる?」「こんなときはどうしたらいい?」など迷うこと揺らぐことだらけです。

今回、機会をいただいて、人が人として生きるうえでもつ当然の権利「人権」について改めて考え、勉強することができました。



介護予防教室 今後の予定

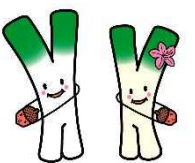
会場：各公民館

彦名町	10月22日(木) 13:30~15:00	「チェアエクササイズ」 医療法人真誠会 健康運動指導士 松本晃彦氏
夜見町	11月12日(木) 13:30~15:00	「お口の健康について」 篠原歯科医院 院長 篠原太郎氏
崎津	11月19日(木) 13:30~15:00	「お口の健康について」 新納歯科大崎医院 院長 新納哲雄氏
大篠津町	11月17日(火) 13:30~15:30	「薬の上手な飲み方について」 長谷川薬局 薬剤師 長谷川千鳥氏
和田町	11月18日(水) 13:30~15:00	「お口の健康について」 どい歯科クリニック 院長 土井教子氏

今年も、公民館祭で頭の健康チェック等行います。皆様どうぞお越しくださいませ！

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように支援を行う総合機関です。

お困りごとや悩みごとなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。



米子市から委託を受けて 彦名、夜見、富益、崎津、大篠津、和田 を担当しています

米子市弓浜地域包括支援センター

電話 48-2330 FAX 48-2340

Eメール sien-ctr@hospitown.or.jp

ホームページ <http://www.hospitown.or.jp/houkatu/>



地域包括支援センターは地域のネットワークづくり、助け合いの町づくりを支援します。

「弓浜メールニュース」配信中です！配信ご希望の方は電話またはEメールでご連絡ください！